

L o v e l y W i n d

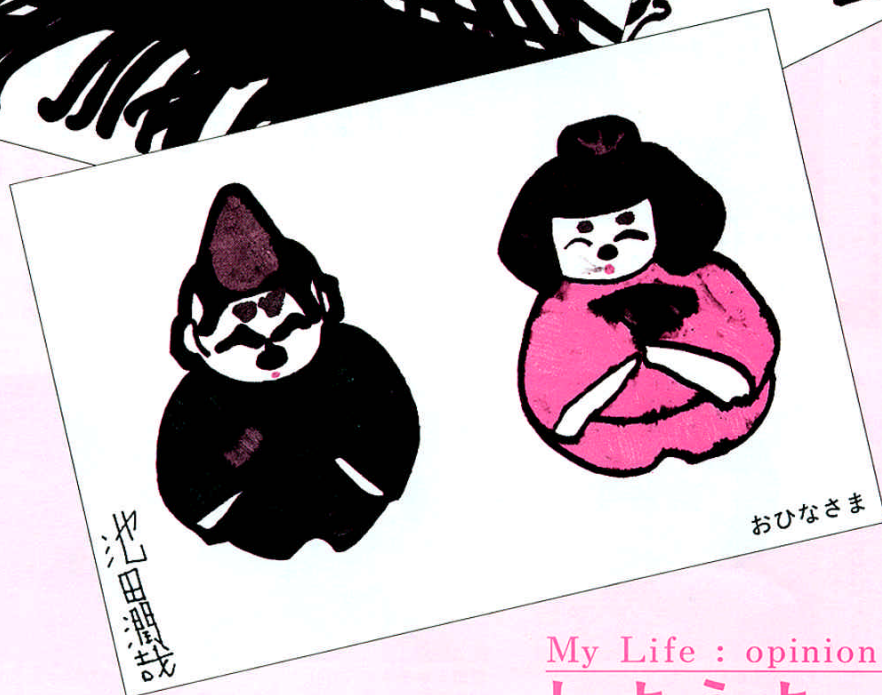
女のかせ

VOL. 2

1996・春号

富山市女性情報交流誌

いろんなこと、私たちで考えてみませんか。



My Life : opinion

しようよ。

本音で話そう、女のこと、男のこと。

WOMEN

男女共生社会を実現しようと様々な立場の男女が生活の中で実践しています。今回は20代〜70代の富山市女性学講座を受講している女性たちを集まっていたが、生活の中での男女平等について話し合っただけで済みました。また、さまざまな職業の男性何人かにも同様のテーマでお話を伺ってみました。

◆あなたが女性らしさ、女性だと感じたときは？



宮島玲子さん(50代)
自分にも何かできるだろうと思って女性学講座に参加しています。

坂田「私は和裁教室を開いています。たくさんの生徒さんと触れ合う中でシンが強く控えぬ人々に女性らしさを感じます」
大津「女性らしさって一体なんでしょう。今まで余り感じたことなかったですね。娘にも『女らしくしなさい』と言ったこともないしこれからも言うつもりはありません」
宮島「26、7才のころ、就職の保証人に頼まれた時に女性だとダメだと言われたんです。当時私は医療社会福祉士で、社会に對

して信用があると思っただけに……」

◆今までどんな風に社会にかかわってきたか？



大津典子さん(30代)
いろいろな事に興味があって講演会には顔を出すようにしています。

上原「『ひまわり』というボランティアグループの中で朗読のテープや本を海外へ送ったり、パンフレットを作ったりしています」
中根「児童会、PTA、町内会の役員などを経験してきましたが、今は空いた時間を見つけて自分の興味の幅を広げています」

◆理想のパートナー像は？
永井「夫婦の中で女性側が家事というのは疑問です。男女の区別なく出来たらいいと思います。また、育児や介護にも深くかかわってもらえたらベストです」
宮島「私も賛成です。ただ、現実には世代の違いや家の慣習などがあって出来ないこともありそうです」

◆自分のなりたい女性像は？



中根寿恵子さん(40代)
これからの女性がどんなふうになるか興味があります。

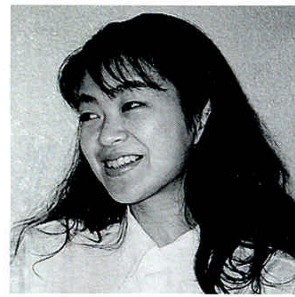
上原「冷静に物事を判断し、自分自身をコントロールできる人間になりたい」
坂田「思いやりのある女性になりたい」
中根「人の心の痛みがわかって相手の目線に立って会話が出来るといい」
永井「相手の立場に立って物事を考え、自分の存在感を出したいと思う」
大津「人の意見に左右されずに自分で考えられる女性でいたい」
宮島「信念をもち、控えぬ行動の中にキラリと光るものが出せればいいです」



中根「生計を立てられる資格をもてたいと思います」
上原「何か自分のものをひとつ持つこと、どんないろいろな職業や場所に出る挑戦し続けねばならないと思います」



坂田ミサ子さん(70代)
和裁教室をしています。大学の学園祭へも行くんです。



永井奈緒子さん(20代)
秋田から来ました。新婚です。週4回前職を生かして働いています。

◆そのために今後女性はどう学んで行ったらよいでしょうか？
中根「生計を立てられる資格をもてたいと思います」
上原「何か自分のものをひとつ持つこと、どんないろいろな職業や場所に出る挑戦し続けねばならないと思います」

MY LIFE OPINION

◆あなたが男性らしさを感じた時は？

平井「男性らしさという定義が自分の中に無いなあ」

酒井「ネクタイを締めて時間の拘束や社会的信用を感じた時ですネ」

林「個人らしさはあっても性別で『らしさ』はないと思う」

その他の男性
20代未婚「愛し合っている時」

30代既婚「日常生活で意識したことが無い」
40代既婚「ヒゲをそるとき」

◆家庭内の家事や育児を半分ずつ分担することをどう思いますか？

酒井「お互いで決めたルールなら守りますよ」

林「女性も疲れているんだから手伝うのは当たり前」

平井「お互いが自発的にやる姿勢が大事だと思う」

その他の男性
40代既婚「正直いってしんどい」

30代既婚「男女の役割として決めるのはどうかと思う」
40代既婚「お互いがかばいあうべき」



平井茂雄さん(20代未婚)
新聞記者です。横浜から来ました。フットワークのいい人間になろうと思っています。



酒井 聡さん(30代未婚)
自由業です。最近国際的なボランティア活動を始めました。

◆あなたの周りの最近の女性をどう思いますか？

平井「キャリアアウーマンや主婦と、していることは違っても皆頑張っている！」

酒井「能力があっても認められない女性が多い」

林「男性十の力を持っているのでこちらが刺激されますねえ」

その他の男性
40代既婚「生意気で不満が多い」

30代既婚「本質的には変わらない」
20代未婚「強い」

M E N

◆理想のパートナー像は？

平井「自主性を尊重しあえる人」

酒井「やれることをお互いに認めてやれたらよいのでは？」

林「完全な男女平等はないのだからお互いに分かりあいたいね」

その他の男性
30代既婚「共通の価値観の持ち主で自分とは違うタイプ」

40代既婚「刺激しあえる人」



林 和夫さん(40代既婚)
建設会社を営んでいます。8人家族です。市内で初めて若い女性の現場監督を登用しました。

「しようよ」

話そうよ。

理解しようよ。

そして、協力してみようよ。

女性はやる事が多すぎて体がいくつあっても足りないんです。

男性だって、ストレスや悩み事、相当なもんです。

だったら、やってみよう。

男性は肩の力を抜いて思った事を正直に話してみよう。介護や家事育児、クリアすべき課題から逃げないで、性的役割を決めつけないで、人間として自分のパートナーと話してみよう。

女性だって同じこと。相手だって大変なはず。本当に理解していると云えますか？

時間をかけて思っている事を話すことで、少しずつ協力していけば…。

正直に言うことで男女のいい関係、必ず築けるような気がします。

最近、話していないでしょうか？

さあ、あなた自身も身近なパートナーに呼びかけてみようよ。



表紙



表紙を飾って下さったのは平成4年のNHK「私の地球、私の仲間」絵画展に入選された池田潤哉さん（めひの野園生）です。潤哉さんは主に和紙にマーカーペンを用いて生物写生を行っています。彼は風景をジッと見つめた後、園に帰りそれを思い出して一気に描き上げます。

元々絵が好きだった彼は、日展会友の川西重治氏のもとで才能を開花させました。「彼の画風はマーカーペンを使用することで感性が一番ストレートに表現できる」と川西氏は評します。はつきりした力強い線、鮮やかな色使い……。彼の絵を見ていると心が温かくなります。あなたも潤哉さんの絵に触れて優しい時間を過ごされてはいかが？「ギャラリィ・ドゥ・紫苑」2月6日～12日展覧会「エスタ」3月予定のめひの野園作品展。絵ハガキ8枚セット（表紙の絵もあります）で300円。めひの野園にて販売しています。

すくすく

平成7年9月11日生(富山市新庄)
長江家の四つ子ちゃん

みんな仲良くしようね パパ隆一
元気で優しい子になってね ママ香緒里

璃歩ちゃん 瑠香ちゃん 亮輔ちゃん 玲菜ちゃん



報告

富山市の女性行動計画の中で、女性の社会参加促進を目指して、市の政策、方針の決定への女性の参加を重要課題としています。

本市では、各種審議会などの委員の中で女性の占める割合は、平成7年6月1日現在約13%です。

平成7年12月市議会定例会において、正橋市長は「平成12年度（西暦2000年）までの女性の登用率が20%を超えるように努力する」と述べました。

編集人

今回の企画は、女性・男性の現れを聞くことができて面白かったわ

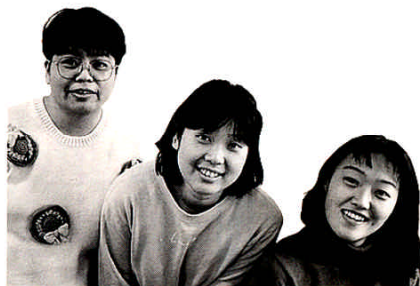
女性の問題も男性の問題、どちらも考えらねばならないと思っ

男性も結構、本音を話してくれていたしねえ

夫婦別姓問題にも意見がある、ママさん自身が自らの問題として考え始めるといふゆえ

とっつて絶対やってみてね、いっかやいらほくちやいけい問題だよ

私達が今抱えている問題について富山のことも含めて、グローバルに考えていきたいわ



▼編集・発行 富山市役所市民部青少年女性課
〒9930 富山市新桜町7-38

おしらせ

富山市の「(仮称)富山女性交流センター」について

(仮称)富山女性交流センターは、平成9年度初めにオープン予定の県の「とやま女性総合センター(仮称)」3階に入居して事業を展開いたします。大きく分けて、次の4つの事業を考えています。

- ①各種講座
- ②市政情報、女性問題に関する情報の収集および提供
- ③女性団体等の支援およびネットワークづくり
- ④女性問題解決のための相談

この4つの中で期待される具体的な事業がありましたら、ご意見をお寄せください。お問い合わせは、青少年女性課

☎43-2051

「あいのかぜ」創刊号の反響が沢山届きました。その中から2通ほど紹介します。

日曜の朝、回覧板をゆっくり読ませていただきました。第2号を期待しています。

諸江弘子さん(五福)

仕事で自分を発見のタイトル、魅力的な女性3名様、それぞれ健康で自分の仕事に生きがいを見いだされ、頑張っておられる様子が感銘致しました。皆様家族の愛情と協力があればこそと思います。

越前節子さん(布目)

温かいご声援有難うございました。この号に関するご意見・ご感想も心よりお待ちしております。

TEL0764-432051 1996年2月発行
FAX0764-432176 (年2回9月・2月号)

.....としておく役立ちます.....